

# 2013年地域プロジェクト発表会

## 松本 EX ゼミ(サンリオピューロランドの課題解決イベントの企画運営)

### 1、成果

<p>【イベント収益】</p> <p>収入：¥260,678</p> <p>支出：</p> <p>利益：</p> <p style="text-align: right;"><b>結果：黒字</b></p>	<p>【協賛店】</p> <p>・東急自動車学校   ・武蔵境自動車教習所</p> <p>・喜多方ラーメン   ・毎日コムネット</p> <p>・株式会社美多加堂   ・アイパッション</p> <p style="text-align: right;"><b>合計：6店舗</b></p>
<p>【ゼミ生の成長】</p> <p>イベントを通して、サンリオピューロランドの抱える課題・問題を解決することを目的にし、活動していくことでメンバー、一人一人が実社会に必要なスキルと経験を身につけられた。</p>	

### 2、今日までの活動

- 5月～8月：サンリオピューロランド研究
- 6月：サンリオピューロランドへのフィールドワーク
- 6月～7月：プレイイベント制作・実施
- 7月：オープンキャンパスなど学内活動への協力
- 8月：合宿（研究最終発表）
  - ダンスステージプロジェクトスタッフ活動
- 9月：文化祭（雲雀祭）にて喫茶店出店
- 10月～12月：サンタマイイベント制作・開催
- 12月8日：参加者アンケートによるイベント満足度調査

### 3、イベント開催までのプロセス

**SPLの課題**

サンリオキャラクターグッズを持っている人は多いけれどサンリオピューロランドには子供向けイメージから来園することに抵抗があり幼稚園・保育園以来来園しない人が多い。



一度来園していただくことでSPLの良さを発見してもらおう。

## 4、イベント開催までのプロセス②

- ①アンケート調査にてニーズを調査
- ②オープンキャンパススタッフとして大学に貢献
- ③DanceStageProjectにて、イベントの企画・運営を経験
- ④雲雀祭にて、Sanrio cafeを出店しイベント資金を収集

## 5、イベント企画のためのニーズ調査から見た学生像

- ・アルバイトなどでなかなか時間がない
- ・休日は家で過ごしている人が多い

## 6、イベント実施

タイトル：Our story ～執事からの招待状～

コンセプト：メルヘンな世界でいつもと違う自分になれる

## 7、イベントを開催する意義

- ①大学生を集客
- ②楽しい思い出をサンリオピューロランドで体験してもらう
- ③みんなで一つのものを作りあげる

☆結果☆

特別な思い出を残し、サンリオピューロランドへ「行きにくい」という意識を変えリピートのハードルを下げリピートしてもらう。

## 8、イベントの結果

お客様やスタッフからさまざまな声が上げられた。

[よかった点]

- ・スタッフが笑顔だった
- ・昨年度よりスムーズに軽食などが運べた

[悪かった点]

- ・シュミレーション不足でスタートが遅れてしまった。
- ・軽食が残るのがもったいない

### 【今後の課題】

2013年のサンリオイベントでは、コンセプトにあったイベントを展開することができた。しかし、まだまだ大学生の来園者数が少ないのが現状である。

そのため、来年度からはイベントだけにこだわらず、幅広い面からサンリオピューロランドの問題を解決していきたい。